



# つ ま ま 都 万 麻

平成29年12月14日  
学校だより第242号  
高岡市立太田小学校

## 感じる力

校長 片境 俊二

某テレビ局の日曜日の番組「陸王」を楽しみにしている。小さな足袋会社がランニングシューズの開発に挑み奮闘するドラマだが、何か熱いものを感じさせられる。それは、社長の困難にめげないがんばり、取り巻く人々の一生懸命さや思いやり、互いにスクラムを組んで大きなものに立ち向かう姿……でも、このように言葉にすると、自分が感じた「熱いもの」とかけ離れて、安っぽいものになってしまうようにも思える。

6年生の国語で、宮沢賢治の「やまなし」の研究授業が行われた。「クラムボンって何？」独特の世界から感じたことを、子供たちはいろいろ考えながら朗読していた。5年生の音楽の研究授業では、「アロハ・エ・コモ・マイ」（ハワイ語らしい）という曲から感じたことを、乗り乗りのダンス



で表現していた。自分が感じたことを大切にすること、そしてそれをどのようにして表現し伝えるか考えること、この両方の力を育む授業だった。高学年として成長した跡を感じさせる、子供たちの生き生きとして自信ありげな表情が印象的であった。

朗読やダンスの表現が一人一人違うように、教材から感じることも違って当然である。また、感じるものがなければ、考えたり表現したりはしにくいだろう。では、感じる力はどうやったら育つのか。ある先生は「感じる力（感性）は一朝一夕に育つものではありませんが、感動体験が重要です。そのためには、次の三つのことが大切です。一つ目は美しい（見た目だけではなく）ものや本物に触れること、二つ目は自分の力で乗り越えたという経験、三つ目は自分の力ではかなわないものの存在を感じる」と教わった。これらは、学校の中だけでできることではなく、家庭や地域・社会の中での経験が必要となる。太田っ子には、どんどん外へ出て行って、いろいろな体験を通して感じる力を養ってほしい。

AI（人工知能）の発達が著しく、世の中の様々なことが取って替わられるのではないかとされている。ただ、AIには考えることはできても感じることはむずかしいのではないか。感じる力は人それぞれのものだから……今日12月14日は忠臣蔵の日、美談として語られるが、四十七士はそれぞれに何を感じていたのだろうか。

# 「やるキッズ」コーナー

- ・やさしく
- ・かしこく
- ・たくましく



11/24スーパーマーケット見学（3年）  
お店の工夫について学びました。



11/24 秋のお店（1年）  
秋を感じるものをつくりました。



11/27 アルカディア雨晴訪問（4年）  
「かわいらしい」と喜んでおられる人や、泣いている人も見られました。この訪問は、歌と一緒に歌ってくれた皆さんや、ささえてくれた人のおかげで、大成功でした。僕たちもアルカディアの皆さんも「一体」になったと思いました。（児童の感想より）



## 12/7 しめ縄づくり・門松づくり（5・6年）

松岡さんと金田さんに教えていただきながら、作品を完成させました。歳神様に来てもらえますように。



廊下を歩こう隊（2年） 太田っ子が安全に生活できるように、2年生が看板を持って呼びかけることを学級会で話し合っ、実行しています。



## 人権集会(12/7)～よいところ見つけ～ もちつき大会(12/9)

人権週間の集会では「ウイズユー スマイル」を歌ったあと、縦割り班で互いの「よいところ見つけ」を行いました。全校児童一人一人の顔写真付きで、掲示されています。



・いつもささりんどうたいや先生にあいさつしていいね!  
・自分のやる事が終わったら「次はなに？」と進んでやってくれて、ありがとう!!(児童の言葉)

### 転入生紹介

太田小学校の2年生に、ふるいち きりゅう 古市 希羽さんが転入されました。皆さん、仲よく過ごしてくださいね。全校児童は78名となりました。